

2008年・京都市長選挙における京都市政の刷新と転換、 中村和雄市長の実現をめざす特別決議

先の参議院選挙では、安倍内閣=自公連立政権の悪政に対する国民の歴史的審判が下されました。引き続いて、来年二月にたたかわれる京都市長選挙において、市民いじめの悪政に対する、京都市民の審判が下るよう全力で奮闘しようではありませんか！

この間、京都市職員の犯罪不祥事があいつぎましたが、これは同和行政で歪められた京都市特有の体質に根ざすものであり、一部運動団体を特別扱いしてきた榊本市長の責任は重大です。また、3期・12年続いた榊本京都市政は、国言いなりの悪政を推進してきました。市民税、国保料、介護保険料、市バス・地下鉄運賃、上下水道料金などの引き上げ、家庭有料ゴミ袋の導入などのこの間の負担増は358億円に及び、高すぎる国保料は市民の命綱を奪う事態に至っています。その一方で、高速道路の京都市内乗り入れなど、ムダで環境破壊の公共事業は引き続き進められています。市民いじめの歪んだ京都市政の刷新・転換は急務です。

来春の京都市長選挙に出馬表明をされた弁護士の中村和雄さんは、京都府労働委員会労働者委員不当任命取消し訴訟弁護団の一員でした。弁護士として、労働者や弱い立場の人々の立場に立ってこの間一貫して奮闘するとともに、「市民ウォッチャー京都」の幹事として京都市の不正・腐敗を追及してこられました。まさしく京都市政を刷新・転換していく最善・最適な人です。中村さんは、出馬表明に当たって、“Fair, Open, Right”を合言葉に、公正・公平な市政、透明で市民が参加できる市政、人間らしく生きられる市政への刷新・転換をめざすことを表明されました。

京都総評は、中村和雄さんの決意と姿勢を積極的に支持し、ともに京都市政の刷新・転換をめざして、2008年2月におこなわれる京都市長選挙を全力でたたかいぬくものです。当面、京都市政の現状に対する批判と暴露、学習と宣伝活動の強化、加盟単産・地区労における京都市に対する要求の確立とそれにもとづく要求闘争の実施、京都市政の刷新と転換をめざす「共同」の拡大、10月10日にみやこメッセでおこなわれる市民大集会の成功をめざしてとりくみを開始しましょう！

以上、決議します。

2007年9月1日
京都総評第67回定期大会